

中世文学学会会員様専用注文書

2022年7月10日まで

小社書籍全点が2割引となります。
 書目については、小社ホームページをご覧ください。図書総目録をご希望の場合は、ご請求ください。(なお、品切となっても在庫僅少の場合もありますので、お問い合わせください)
 本体合計8,000円以上は送料サービスとなります。(8,000円未満は550円)

年 月 日

ご氏名			
お届け先	郵便番号	—	電話番号: () FAX.: ()
	ご住所	_____	
ご連絡先		電話番号: () FAX.: ()	
通信欄			

●下記書籍を注文します。

書名	本体価格	弊社使用欄	部数

●お支払い方法 (※○印をお願いします。)

1.私費 (振替用紙同封)	2.公費(校費) ※必要書類をご指示ください。
---------------	-------------------------

書類の宛名	
書類の種類	納品書 通 ・ 請求書 通 ・ 見積書 通
日付	日付なし ・ 日付つき
連絡欄	



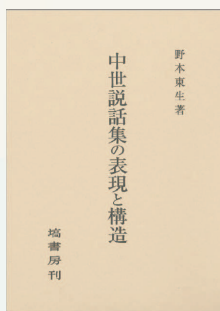
中世説話集の表現と構造

野本東生「著」(北海道大学准教授「中世文学」)

A5判 / 上製・函入 / 三七四頁 / 定価 9,600円(10%税込)

ISBN 978-4-8273-0139-7

受け手を設定する「十訓抄」、受け手を絞る「閑居友」、受け手を設定しない「宇治拾遺物語」を考察し、受け手と語り手の相関についてまとめ、中世説話集の諸相を開示する。



2022年3月発売

主要目次

序章 説話と説話集

第一部

第一章 十訓抄における叙述方法

第二章 十訓抄と顕頼説話

第三章 閑居友の結縁意識

第四章 閑居友における結縁と方法

第五章 閑居友と主体性

第六章 閑居友下巻第三話試解

第二部

第一章 宇治拾遺物語と序

第二章 宇治拾遺物語への視角

第三章 宇治拾遺物語と「とか。」

第四章 宇治拾遺物語の改編と指向

第五章 宇治拾遺物語と評語

第六章 宇治拾遺物語の清仲・武正

第七章 宇治拾遺物語第九九話考

第八章 宇治拾遺物語における二重性と起点

終章 まとめ

引用文献一覧 / 初出一覧 / あとがき / 索引

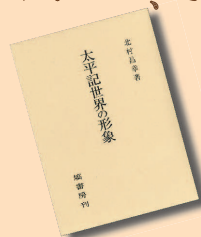
太平記世界の形象

北村昌幸「著」(関西学院大学教授「日本中世文学・軍記物語」)

A5判 / 上製・函入 / 三八四頁 / 定価 9,350円(10%税込)

ISBN 978-4-8273-0116-8

「今昔物語集」「宝物集」などの説話文学や「史記」「白氏文集」等の中国文学との関連を考察し、軍記物語研究に終始することなく、多角的視点から文学作品としての「太平記」の特徴を論じる。また、従来の研究では解釈が留保されていた南北朝内乱史の叙述を取り上げることが本書の特徴の一つである。



主要目次

● 動乱期の例証と歴史叙述

○ 足利政権と軍記物語 ■ 動乱と先例 ① 故事としての『平家物語』 ② 『梅松論』における頼朝と尊氏 ③ 『梅松論』における異朝 ④ 承久の乱と『梅松論』 ⑤ 北野天神説話の機能 ⑥ 大仏供養導師説話の変容 ⑦ 長恨歌説話の主題と表現 ■ 動乱の表象 ① 皇位継承記事の配置 ② 六波羅攻防への視線 ③ 將軍尊氏形象の軌跡 ④ 足利直義像の改修 ⑤ 宝剣進奏譚の構成 ⑥ 桃井入京記事の方法 ⑦ 怨霊後醍醐の役割

琵琶法師の『平家物語』と能

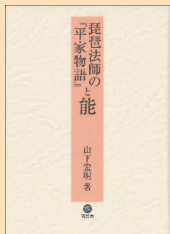
山下宏明「著」(名古屋大学名誉教授「日本中世文学・軍記物語」)

A5判 / 上製・カバー装 / 四四八頁 / 定価 9,680円(10%税込)

ISBN 978-4-8273-0099-4

怨霊を鎮める役割を担った琵琶法師の語りと修羅道に堕ちた武將を演じる能との関係に着目して、『平家物語』を能の側からよみなおす。

能(俊寛・頼政・重衡・実盛・清経・巴・兼平・経政・敦盛・知章・通盛・藤戸・八島・盛久・景清・舟弁慶・小原御幸)、狂言(通円)などを取り上げる。



書店名

塙書房
はなわ

〒113-0033 東京都文京区本郷6丁目26番12号
電話: 03-3812-5821 / FAX: 03-3811-0617
http://rr2.hanawashobo.co.jp
E-mail: hanawashobo@mhb.nifty.ne.jp



中世和歌史の研究 撰歌と歌人社会

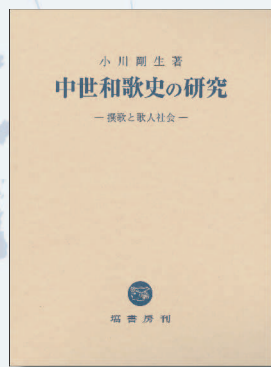
小川剛生 [著] (慶應義塾大学文学部人文社会科学科教授「中世和歌史」)

鎌倉後期から室町中期を中心に撰歌を基底に据えて、文化の根幹で

あつた和歌の働きを歴史的・実証的に考察する。

また、勅撰作者部類・続作者部類の翻刻や索引を収載する。

2017年5月発売



A5判 / 上製・函入 / 口絵二頁・本文七三六頁
定価 15,400円(10%税込)
ISBN 978-4-8273-0127-4

主要目次

序章 「撰歌」の時代……………

第一部 勅撰和歌集と公武政権

第一章 鎌倉武士と和歌―続後拾遺集Ⅱはじめに／雑歌中の「歌道を詠んだ歌群／六位の「侍」の扱い／追加される作者／修訂の痕跡／おわりに……………

第二章 歌道家の人々と公家政権―「延慶両御訴陳」Ⅱはじめに／鎌倉期の家門相論／永仁勅撰の議／「課試」の季節／「訴陳」の時代／譜代か器量か／おわりに……………

第三章 勅撰集入集を辞退すること―新千載集と冷泉家の門弟たちⅡはじめに／新千載集と武家歌人／新千載集作者不競望子細事／奉行人齋藤道惠について／冷泉為秀と門弟たち／おわりに……………

第二部 歌道師範家の消長

第四章 二条家と古今集注釈書―二条為忠古今集序注Ⅱはじめに／二条為忠について／伝本・伝来／成立事情／構成・注釈態度／為忠の庭訓と宗匠家説／為明の古今集講説との関係／おわりに……………

第五章 為右の最期―二条家の断絶と冷泉家の逼塞……………

第六章 飛鳥井家の家学と蔵書―新統古今集までⅡはじめに／雅孝の文書／諸雑記・和歌両神之事・雑々記／雅縁の歌学／雅世と新統古今集／おわりに……………

第七章 南北朝期飛鳥井家の和歌蹴鞠文書―大津平野神社蔵某相伝文書書籍等目録断簡考証Ⅱ解題／翻刻／考証……………

第三部 私家集の蒐集と伝来

第八章 「伏見殿家集目録」をめぐる問題Ⅱはじめに／目録の排列／伏見宮における家集三合の櫃／室町殿打聞と伏見殿家集目録／おわりに……………

第九章 伏見院の私家集蒐集Ⅱはじめに／永仁年間の京極派歌人と私家集／三手文庫蔵今井似閑本における「伏見院本私家集」／現存私家集の伝本と伏見院本(1)―伏見殿家集目録による遡源／現存私家集の伝本と伏見院本(2)―本文系統の検討／伏見院本と資経本／おわりに……………

第十章 足利義尚の私家集蒐集Ⅱはじめに／足利義尚の歌書蒐集／足利義政の歌書蒐集―武家御双紙の書写／足利義尚の歌書蒐集(1)―家集の部類と奥書／足利義尚の歌書蒐集(2)―柳宮重槐本金槐集について／おわりに……………

第四部 古歌の集積と再編

第十一章 類聚から類題へ―夫木和歌抄の成立と扶桑葉林Ⅱはじめに／成立説の再検討(1)―「異本拔書」の跋文／成立説の再検討(2)―「攀枝抄の識語」扶桑葉林をめぐる(1)―巻第六十八「宴歌十八」について／扶桑葉林をめぐる(2)―逸文の集成と考証／扶桑葉林をめぐる(3)―史上最大の和歌資料集成／扶桑葉林と夫木和歌抄(1)―歌合詠の資料源として／扶桑葉林と夫木和歌抄(2)―「類聚」から「類題」へ／おわりに……………

第十二章 禁裏における名所歌集編纂―方輿勝覧集Ⅱはじめに―類題集と名所歌集／三系統の伝本／系統間の比較／自筆草稿の検討／後陽成天皇と名所歌集／祝穆の方輿勝覧―宋代類書の将来と受容／おわりに……………

第五部 勅撰作者部類をめぐる

第十三章 歌人伝史料としての勅撰作者部類Ⅱはじめに／構成と特色／注記「至一〇一年」の問題／五位と六位の間／南北朝武家歌人の新情報／追加追題名の作者／成立時期／おわりに……………

第十四章 勅撰作者部類伝本考Ⅱはじめに／「目録」と部類／「作者部類」を題する写本群／伝本と系統／共通祖本について／おわりに……………

附録一 勅撰作者部類・続作者部類 翻刻……………

附録二 勅撰作者部類・続作者部類 索引……………

終章……………

初出一覧／あとがき／索引……………